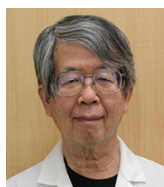


甲状腺機能異常について

今回は日本糖尿病学会・甲状腺学会専門医の
田丸正明医師に「甲状腺機能異常」について伺いました。



▲田丸正明 医師

甲状腺の病氣の方はたくさんいらっしゃいます。甲状腺機能亢進症をきたすバセドウ病は一般健康成人の約4%にみられ、潜在性を含めた甲状腺機能低下症はおよそ10%に見られます。また、甲状腺腫瘍も10%の方でみられ、健康成人の約2割の方には何らかの甲状腺の異常があるという報告もあります。

【甲状腺機能異常と症状】
甲状腺は首（気管の前）にあります。この

甲状腺から血中に分泌されたホルモンは体の隅々まで運ばれ多くの臓器で作用します。そのため、甲状腺機能の亢進・低下は多くの部位で様々な症状を引き起こします。

【甲状腺機能異常と一般検査】

甲状腺機能亢進症の多くはバセドウ病、破壊性甲状腺炎でおこります。バセドウ病では、甲状腺の腫れ、動悸、体重減少、手の震え、発汗過多、眼球突出などが見られます。

甲状腺機能異常では、甲状腺ホルモン、甲状腺自己抗体が異常値を示すほか、甲状腺機能亢進症では血中ALT、AST、ALPの上昇や総コレステロールの低下、甲状腺機能低下症では、総コレステロール、CK、AST、ALT、LDHの上昇など、肝臓や脂質の検査としてよく行われる項目の異常が認められます。これらの異常値から甲状腺機能異

常は、慢性甲状腺炎（橋本病）、甲状腺手術後などでおこります。慢性甲状腺炎では甲状腺の腫れ、疲れやすさ、便秘、体重増加、物忘れ、抑うつ症

状（認知症と間違われることもあります）が治療で治ります。が見られます。

常が見つかることもあります。

【甲状腺機能異常の治療】

甲状腺機能異常となった原因の疾患によって異なりますが、バセドウ病による甲状腺機能亢進では、薬物治療・手術・放射性ヨード治療、甲状腺機能低下症では甲状腺ホルモン剤の服用などを行います。多くの甲状腺の病氣は「治せる」あるいは「無症状で過ごせられます」ので、何か気になる事があれば早めに医療機関を受診してください。

社会福祉法人
思賜園 済生会今治第二病院
今治市北日吉町1丁目7番43号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/site/saiseikai-imabari2/>



☎0898-23-0100